

地域ごとのまちづくり計画推進シート

提出日：令和6年（2024年）3月14日

（市民協働推進課経由）

協働の取組推進担当次長 宛

まちづくり協議会名称： 中山台コミュニティ

代表者氏名： 松下 義弘

1 地域ごとのまちづくり計画の該当箇所（計画に記載している内容を転記してください）

【基本目標】

1-3交通安全対策

【具体的な取り組み】

中山台地域全域の横断歩道、交差点などの安全対策。道路の見通し改善、信号機の設置、車の注意喚起対策、「歩行者優先」の徹底などに対応する。とくに学校の登下校、高齢者などが安心・安全に通行できる対策に取り組む。

※ 地域ごとのまちづくり計画書の__ページに記載

2 この取組の連絡窓口（氏名、所属（部会名）、連絡先）

（1）氏名

●

（2）役職・所属する部会名等

●

（3）連絡先（電話番号、メールアドレス）

●

※ 次ページに続く

3 「具体的な取り組み」について

目的・課題、内容についてご記載ください。

【目的・課題（どのような地域課題があるか）】

【記載例】

・●●地域には「■■■■～～■■■■」という地域課題がある。地域ごとのまちづくり計画に記載している「▲▲～～▲▲」を実現することで、▼▼が推進され、地域課題の解決につながると考えている。

この地域は幹線道路が広く設けられ、運転者にとって運転はしやすいが、坂の街ゆえに下りはスピードが出やすく、登りはアクセルを踏み込みがちになる傾向がある。加えて現在、運転者・歩行者共に高齢化が進み、ここ最近交通事故が増えてきている上に、スマートインターができたことにより、地域外の車が幹線道路でない住宅街の道路を抜け道にして、猛スピードで走り抜ける現状にある。歩道を走る自転車（とくに下り）の取り締まりも求められる。

かつてはPTAや地域住民による見守りで対応ができていた部分もあるが、仕事を持つ世帯が増え、住民の高齢化もあり、マンパワーでは補えなくなっている。

事故を未然に防ぐためには歩行者・運転者への注意喚起は当然のことで、それらは地域の責任の下に進めていかなくてはならないが、信号の設置、看板の設置、減速効果のある道路舗装、その他信号のない横断歩道で歩行者が横断中であることを知らせるような「何か」など、それら対応については警察・市の力によるところが大きい。是非、課題解決に向けてご協力いただきたい。

【内容（何をするのか、いつするのか等）】

【記載例】

・「計画の内容を実現するため、●年●月頃までに■■■■を実施したい。」

・「計画内容の実現に向けて、まずは行政の関係課と協議を実施したい。」等

※ 既に取り組んでいる事業の場合は「これまでの取り組み」や「これまで対話を進めてきた関係課及び対話の状況」等もご記入ください

計画内容を実現するため可及的速やかに、行政、警察関係者と協議したい。